



## 審査結果報告書

平成 27 年 1 月 28 日

主 査 氏 名 廣畑 俊成 

副 査 氏 名 庄司 信行 

副 査 氏 名 天羽 康之 

副 査 氏 名 石川 均 

1. 申請者氏名 : 大槻 智宏

2. 論文テーマ : Usefulness of Anterior Chamber Depth Measurement for  
Efficacy Assessment of Steroid Pulse Therapy in  
Patients with Vogt-Koyanagi-Harada Disease  
(vogt-小柳-原田病における、ステロイドパルス療法の評価  
判定の為の前房深度測定の有用性)

3. 論文審査結果 :

vogt-小柳-原田病はメラノサイトに対する自己免疫反応によりぶどう膜炎をきたす疾患である。本疾患は、網膜の滲出性剥離を合併することが多く、十分な治療が行なわれないと、恒久的な視力障害を残す可能性がある。初期にはステロイドパルス療法が行なわれることが多く、その効果の判定には隅角鏡や UBM など角膜表面にレンズを接触させる侵襲的検査が行なわれてきた。申請者は、この点を改善するために非侵襲的に前房の深度を観察することのできる光学式眼軸長測定装置 IOL master を用いて、vogt-小柳-原田病におけるステロイドパルス療法の効果の測定法を新たに検討した。その結果、治療がうまく行った場合は前房深度が最も早期に改善し有意に延長することを見出した。他のぶどう膜炎を示す疾患などについても比較検討することが望まれるが、申請者らの発見は vogt-小柳-原田病の早期治療の方法の改善について大きな貢献をなすものであり、この点において学位論文に値するものと判定される。